鮎沢川水系鮎沢川　洪水浸水想定区域図　（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））［水位周知区間外を含む］

N

小山町

御殿場市

南足柄市

小山雨量観測所

小山町役場

小山水位観測所

駿河小山駅

足柄駅

御殿場駅

御殿場市役所

御殿場雨量観測所

国道246号

国道138号

国道469号

東名高速道路

JR御殿場線

17.684k
17.0k
16.0k
15.0k
14.0k
13.0k
12.0k
12.0k
11.0k
10.0k
9.0k
8.0k
7.0k
6.0k
5.0k
4.0k
3.0k
2.0k
1.0k
0.0k

凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 市町境界
- 河川等範囲
- 検討した水位周知区間を含む区間

500　0　500　1000　1500　2000 m

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 1JHs 1327
※A1判出力時は1：15,000、A3判出力時は1：30,000

1 説明文

（1）この図は、鮎沢川水系鮎沢川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

（2）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の鮎沢川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により鮎沢川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域以外の区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

（4）また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

2 基本事項等

（1）作成主体	静岡県
（2）公表年月日	令和3年5月11日
（3）検討した水位周知河川を含む区間	・鮎沢川水系鮎沢川（実施区間） 左岸：御殿場市五部作川合流点から神奈川県境まで 右岸：御殿場市五部作川合流点から神奈川県境まで
（4）公表の前提となる降雨	鮎沢川流域の日総雨量530mm
（5）関係市町	小山町、御殿場市